

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：警察庁長官賞（高学年の部）

タイトル： おまわりさんへありがとう

氏名： 富田 紗愛（トミタ サナ）

小学校名：埼玉県 熊谷市立熊谷南小学校 四年

わたしは、おまわりさんを想ぞうすると、『笑顔』と『やさしい』という言葉が頭にうかんできます。

この前、車に乗っていると交通整理をしているおまわりさんがいました。そこにたまたまきゅう急車が通ったので、母は車を左によせました。すると笑顔あふれるおまわりさんが、元気いっぱい大きな声で、

「ありがとうございます。」

と言ってくれました。わたしと母は、交通ルールを守るあたり前のことをしただけなのにととてもうれしい気持ちになりました。それと同時にルールを守る大切さにあらためて気づくことができました。おまわりさんの笑顔が、思いやりの運転や事こをなくす一つにつながっているんだと感じ、感しゃの気持ちでいっぱいになりました。

わたしは、三年生の時の社会科見学で、熊谷けい察しよに行ったことがあります。おまわりさんがいつも持っている道具や、きれいのやり方を教えてくださいました。他にも、パトロールカーの中や、交通取りしまり用自動二りん車に乗せてもらい、感動しました。

そして、一番心にのこったのは、おまわりさんの二つのお話でした。

まず一つ目は『交通ルールを守れば心も体も幸せになれる』ということです。それを伝えるために、社会科見学をさせてくれたり、学校で、交通安全教室や自転車教室を開いているそうです。少しのゆだんが事こにつながるので、ルールをかくにんできるきかいを作ってもらえることにありがたいと思いました。

二つ目は『悲しい事けんや事こがなくなってほしい』というお話です。悪い人をつかまえたり、事こげん場にかかけけるおまわりさんの活やくが、かっこいいことばかりを考えていましたが、その事けんや事こにあって悲しんだり苦しんだりしている人がいるということに気付きました。おまわりさんは、悲しみや苦しみを味わう人が少しでもいなくなる世の中を目指してがんばっているのだと知り、そのやさしさやしめいかんの強さに心がふるえました。

おまわりさんのおかげで、わたしたちの生活が安全なのだと思います。これからも自分の命を大切にするために教えてくれたことをわすれず、ルールを守って生活していきたいです。そして、おまわりさんへの感しゃの気持ちがとどきますように…。

「ありがとう。」